

持続可能な水田営農システムの確立

背景

- ・水田は食料の安定供給、多面的機能
- ・耕作者の高齢化、リタイア、後継者、担い手不足
- ・荒廃農地の増加、農村機能の低下(特に中山間)

課題

(1) 水田農業の持続的な維持・発展

- ① 担い手への農地集積・集約を加速化
- ② 集落営農組織の育成～発展

(2) 中山間地域における仕組みづくり

- ① 集落と担い手のマッチング、協力
- ② 集落に応じた多様な手法

普及活動成果指標

指標項目	単位	現状 (2018年度)	→	目標 (2022年度)
(ア)三重県型集落営農の確立数	集落数	543	→	568
(イ)集落営農組織の経営高度化実践 組織数	組織数	—	→	29
(ウ)中山間地域等のモデル取組支援数	支援数	—	→	33

活動方針

(1) 三重県集落営農の新規確立

担い手経営基盤の強化と、地域単位で土地利用調整を図る水田営農システムの確立を一体的に推進

→意欲の高い地域に支援を重点化

(2) 既存の集落営農組織への支援

GAP認証、スマート農業、法人化、新規作物の支援
集落営農組織の連携・相互補完、エリア拡大の支援

(3) 中山間地域への支援

持続可能な仕組み →多様な担い手、手法のモデル